

予防接種
開始時期



0歳

1歳

3歳

5歳

関川村 0歳～6歳 ワクチン接種スケジュール

2025年4月現在

予防接種名	対象者(接種対象年齢)	回数	予防する病気	標準的な接種年齢目安・※接種間隔 詳しくは、冊子「予防接種と子どもの健康」をご覧ください
ロタウイルス ※ロタリックスかロタテックのどちらかを選択	ロタリックス(1価ワクチン) 生後6週から24週(約5か月半)まで	2回	胃腸炎 (ロタウイルス感染による)	【1回目】2か月 【2回目】3か月 ※4週以上あける
	ロタテック(5価ワクチン) 生後6週から32週(約7か月半)まで	3回		【1回目】2か月 【2回目】3か月 【3回目】4か月 ※4週以上あける
小児の肺炎球菌 (20価)	生後2か月から 5歳誕生日前日まで	4回(開始年齢で異なる) 初回3回 追加1回	肺炎球菌感染症	【1回目】2か月 【2回目】3か月 【3回目】4か月 ※4週以上あける 【4回目】1歳～1歳3か月 ※3回目接種後、2か月以上あける
B型肝炎	生後2か月から 1歳誕生日前日まで	3回 初回2回 追加1回	肝臓の病気 (吐き気、嘔吐等)	【1回目】2か月 【2回目】3か月 ※4週以上あける 【3回目】7か月～8か月 ※1回目から20週以上あける
5種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ)	生後2か月から 7歳6か月未満	4回 初回3回 追加1回	ジフテリア・百日せき・破傷風・小児マヒ・インフルエンザb菌による感染	【1回目】2か月 【2回目】3か月 【3回目】4か月 ※3週から8週あける 【4回目】1歳～1歳3か月 ※3回目接種後、6か月から18か月の間
BCG(結核)	1歳誕生日前日まで	1回	結核	5か月～7か月
麻しん風しん1期(MR1期)	1歳から2歳の誕生日前日まで	1回	麻しん風しん	1歳を迎えたら早めに接種しましょう
水痘(水ぼうそう)	1歳～3歳の誕生日前日まで	2回	水ぼうそう	【1回目】1歳～1歳3か月 【2回目】1歳6か月～2歳3か月 ※1回目接種後、6か月から12か月あける
日本脳炎1期	生後6か月から 7歳6か月未満	3回 初回2回 追加1回	日本脳炎	【1回目】【2回目】3歳 ※6日から28日の間隔をあける 【3回目】4歳 ※2回目接種後、6か月から12か月あける
麻しん風しん2期(MR2期)	5歳以上7歳未満で 小学校就学前の1年間 (4月1日～翌年3月31日)	1回	麻しん風しん	保育園年長児相当期間に接種しましょう

★予防接種を受ける際は、原則保護者の同伴が必要です。

同伴できない場合、予診票裏の委任状を提出してください。

各予防接種の予診票は出生届の時に お渡しした蛇腹ファイルの中に入っています。

接種当日、予診票に記入し、母子手帳と一緒に医療機関へ持参してください。

裏面も必ずお読みください!

1 予防接種を受けることができない場合

- 明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)をしている人
- 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分でアナフィラキシー(通常接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応、ショック状態になるようなげし
い全身反応)を起こしたことがある人
- BCG接種の場合、外傷などによるケロイドが認められる人
- B型肝炎接種の場合、出生後にB型肝炎ワクチンの接種を受けた人
- ロタウイルス接種の場合、腸重積症の既往がある人、先天性消化管障害を有する人、重症複合免疫不全症の所見が認められる人
- その他、医師が不適当な状態と判断した人

2 接種を受ける際に、医師とよくご相談しなければならない場合

- 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気、発育障害などで治療を受けている人
- 予防接種で、接種後2日以内に発熱のみられた人および発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた人
- 過去に免疫不全の診断がなされている人および近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ワクチンの成分(卵、抗菌薬、安定剤など)にアレルギーがあるといわれたことのある人
- BCG接種の場合、過去に結核に感染している疑いのある人
- ロタウイルス接種の場合、胃腸障害のある人

3 予防接種を受ける前の注意

- 接種を受けるお子さんの日頃の健康状態をよく知っている保護者の方が連れていきましょう。(原則、保護者が望ましいです。)
- 受ける前のお子さんの体調や状態をよく観察しましょう。
- 今日受ける予防接種について、別冊「予防接種と子どもの健康」を読み、必要性、効果及び副反応についてよく理解しましょう。
- 前日に入浴させて清潔にしておきましょう。
- かかりつけ医がいる場合、前もって予防接種をうけてよいかどうか判断してもらいましょう。

4 予防接種後の注意

- 予防接種を受けたあと30分間程度は、医療機関でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとるようにしておきましょう。
急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- 接種後、1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- 当日の入浴は問題ありませんが、接種部位はこすらずに清潔を保ちましょう。
- 当日の激しい運動は避けましょう。
- 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、すみやかに医師の診察を受けましょう。

5 定期予防接種による健康被害救済制度について

定期予防接種後、引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に給付を受けることができます。
定期予防接種後の副反応などが生じた場合には、担当までご連絡ください。